

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)	
事業内容	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した販売会や問屋呉服店への販卸訪問等を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	2,407	2,250	10,220	4,194	1,530
	(b) 予算現額	1,914	2,250	10,386	2,500	1,530	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 493	0	166	▲ 1,694	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	1,914	2,250	10,386	2,500	1,530	
	B. 執行済額	1,914	1,997	9,167	1,868	1,068	
	うち交付金充当額	1,531	1,597	7,334	1,494	854	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	88.8%	88.3%	74.7%	69.8%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は計画通りに執行した。 ・不用額462千円については、旅費の減(展示会主催者側から旅費の支給があったため)によるものである。 						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	島内・外での展示会参加数	目標	(4回)	(6回)	(6回)	(5回)	(8回)
		実績	5回	5回	9回	8回	7回
	商品開発試作品製作数	目標	(-)	(6反)	(5反)	(5点)	(-)
実績		-	5反	未実施	6点	-	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に展示会を実施予定だったが、取引問屋からの指定である100反の生産反数を確保できず、H29年度に延期となったため、島外での展示会参加回数が目標を下回った。 ・H27年度に新商品開発した「久米島組織織」の受注製作販売を開始した。 ・県外の物産展に参加したことにより、テレビや雑誌等の取材件数が増えPR効果に繋がった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(R3年度)
	反物売上額	目標	()	(7,000万円)	(7,000万円)	(7,700万円)	(6,300万円)
		実績		7,100万円	6,600万円	6,000万円	6,224万円
	小物売上額	目標	()	(1,000万円)	(1,000万円)	(1,500万円)	(1,200万円)
		実績		1,000万円	1,200万円	1,700万円	768万円
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・売上目標、実績は、商品開発、物産展、展示販売会での売上を含めた、紬組合全体の売上目標、実績を計上している。 ・反物について、売上額が増加しているが、交付先である紬組合が創立50周年を迎え、記念事業として展示会等を開催したことが要因であると考えられる。 ・小物について、H28年度~H30年度まで大学の卒業記念品の発注があったが終了したことにより目標売上額を大きく下回る結果となっている。 ・これまでの商品開発や県内外の展示会等参加により需要が高まっている印象である。 						

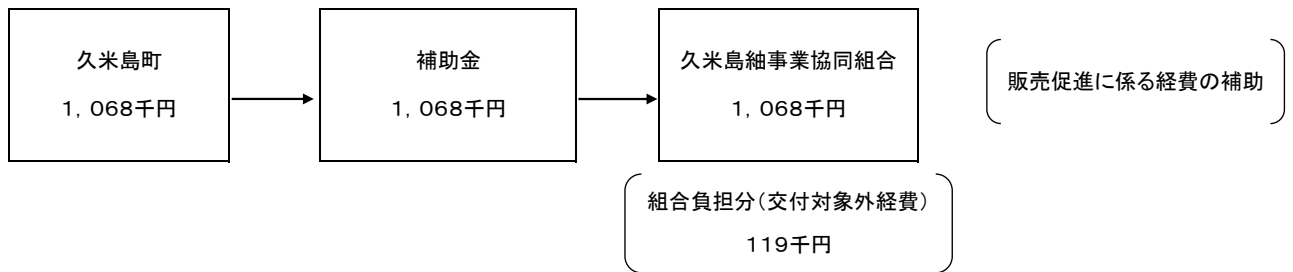
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小物のラインナップが他産地と加工会社が同じことから似たものになっている。 ・高額商品の為ECサイトでの販売展開が難しい。 ・反物の問屋からの受注と織子の生産反数に限りがあり追い付いていない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のニーズにあった売れる商品(小物)を制作する必要がある。 ・需要の高まりに対応すべく、生産数量および売上増加を図るため織子の製作技術向上を強化する取組が必要である。

今後の取り組み方針

- ・入客が多く見込まれる夏までに加工場を開拓し、小物商品の選定を行う。
- ・アドバイザーを招聘し原価計算や商品分析を行い売れる商品を生産する。
- ・生産数量の安定化を図る為、織子のスキルアップを目的とした講習会の開催を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,187	1,068	854	214	119



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先である細組合は、紬製造従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○予算規模は紬振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である細組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

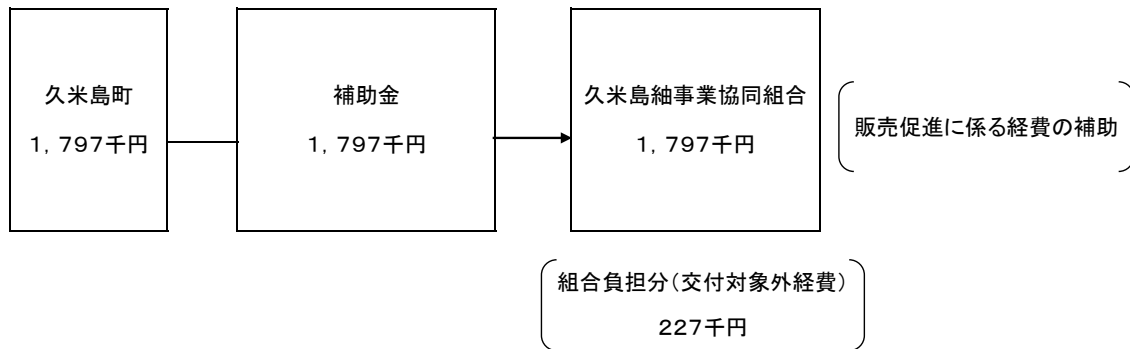
市町村名		久米島町					
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)	
事業内容	久米島紬の付加価値を高め販路拡大し、売上増加を図るため、消費者ニーズに即した販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う団体へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		(a) 当初予算額	2,250	10,220	4,194	1,530	2,500
	(b) 予算現額	2,250	10,386	2,500	1,530	2,500	
	(c) 増減額(b-a)	0	166	▲1,694	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	2,250	10,386	2,500	1,530	2,500	
	B. 執行済額	1,997	9,167	1,868	1,068	1,797	
	うち交付金充当額	1,597	7,334	1,494	854	1,437	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.8%	88.3%	74.7%	69.8%	71.9%	
予算の状況の説明	・事業は計画通りに執行した。 ・不用額703千円については、旅費の減(展示会主催者側から旅費の支給があったため)及び商品開発に係る材料一括購入による単価の減額によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	島内・外での展示会参加数	目標	(6回)	(5回)	(8回)	(8回)	
		実績	9回	8回	7回	8回	
	男性用着尺の試作品作成	目標	(-)	(-)	(-)	(6反)	
実績		-	-	-	6反		
達成状況説明	・島内・外の展示販売会参加回数、男性用着尺の試作品作成は当初の目標を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(R3年度)
	反物売上額	目標	()	(7,000万円)	(7,700万円)	(7,750万円)	(6,300万円)
		実績		6,600万円	6,000万円	6,430万円	6,224万円
	小物売上額	目標	()	(1,000万円)	(1,500万円)	(1,650万円)	(1,200万円)
		実績		1,200万円	1,700万円	1,610万円	768万円
進捗状況説明	・売上目標、実績は、商品開発、物産展、展示販売会での売上を含めた、紬組合全体の売上目標、実績を計上している。 ・反物について、売上額が増加しているが、交付先である紬組合が創立50周年を迎え、記念事業として展示会等を開催したことが要因であると考えられる。 ・小物について、H28年度~H30年度まで大学の卒業記念品の発注があったが終了したことにより目標売上額を大きく下回る結果となっている。 ・これまでの商品開発や県内・外展示会等参加により需要が高まっている印象である。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小物のラインナップが他産地と加工会社が同じことから似たものになっている。 ・高額商品の為ECサイトでの販売展開が難しい。 ・反物の問屋からの受注と織子の生産反数に限りがあり追いついていない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のニーズにあった売れる商品(小物)を制作する必要がある。 ・需要の高まりに対応すべく、生産数量および売上増加を図るため織子の製作技術向上を強化する取組が必要である。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・入客が多く見込まれる夏までに加工場を開拓し、小物商品の選定を行う。 ・アドバイザーを招聘し原価計算や商品分析を行い売れる商品を作成する。 ・生産数量の安定化を図る為、織子のスキルアップを目的とした講習会の開催を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,024	1,797	1,437	360	227



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先である紬組合は、紬製造従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○予算規模は紬振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	